Ⅳ-7

東北地方における鉄道の名称に関する史的研究

岩手大学　正員　安藤　昭
岩手大学　正員　岩佐　正章
㈱ガイアートクマガイ　正員　○　鈴木　博之

1．はじめに

近年の鉄道は、主に高速・快適性を目的とした車輌、駅舎等ハード面の整備が行なわれ、これらが観光客誘致等に一役買っている場合が多い。

ところで、飽戸の「イメージの心理学」（1970）によると「イメージというものが、行動ときわめて密接な関係にある。」とし、イメージの改変による行動の操作の可能性を主張している。つまり前述の例は、ハード面の整備により鉄道のイメージが変わり、観光客の行動が操作されたと解釈できる。またイメージというものは、路線名や駅名のような「名称」という道具を使い記憶されるといわれ、名称の改称によりイメージを改変することが可能であるという。つまり、鉄道のイメージを研究するうえで、路線や駅の名称は重要であると思われる。

そこで本研究では、鉄道のイメージ研究の準備段階として、都市や自然が混在しイメージの変化が著しいと思われる東北地方において、鉄道路線や駅の名称の称呼、改称の歴史を調査し、考察する。

2．東北地方の鉄道交通の概要

明治20年 7月、東京の上野から福島県の郡山まで、私鉄の日本鉄道（現JR東北本線）が開通、明治24年 9月には、青森まで開通させ、同区間は約27時間で結ばれることになった。これをきっかけに、明治31年 8月には日本鉄道磐城線（現JR常磐線）が、明治38年 9年には国営の奥羽線（現JR奥羽本線）が、そして岩越鉄道（現JR磐越西線）・羽越本線が開通‥‥と、現在の幹線網は、大正後半までにほぼ完成した。

この間、幹線私鉄の国有化、日露戦争等での鉄道の軍事利用強化の時代を経て、明治後半から地域の発展という趣旨で鉄道が建設されるようになり、大船渡線のような地元政治家による鉄道誘致いわゆる「我田引鉄」が行なわれるようになった。

第二次大戦後の高度成長では、鉄道の旅客・貨物輸送量はともに増加した。しかし、この高度成長による自動車の普及等の影響で日中線等の国鉄赤字ローカル線や花巻の軌道等の地方私鉄のように、廃止・転換される路線が出てきた。

そのようななか、昭和57年 6月大宮・盛岡間に東北新幹線が開通し、東北地方における高速鉄道時代のさきがけとなった。昭和59年 3月には、国鉄ローカル線の久慈線・宮古線・盛線が廃止され、これら路線は、同年 4月に東北初の第三セクター鉄道として開業した。そして昭和62年 7月、仙台市内に地下鉄が開通し、平成 4年 7月に山形新幹線が、平成 9年 3月には秋田新幹線がそれぞれ開通した。

この間、路線の開通・廃止・第三セクター化・国鉄民営化等が実施され、平成10年 1月現在、東北地方には、JR新幹線が 3線、JR在来線が29線（うち幹線は 7線）、私鉄線が 7線、第三セクター線が 9線、公営線が 1線の全49路線の鉄道ネットワーク（貨物線・索道等を除く）となっている。そして今後、東北新幹線の延伸、JR在来線の第三セクター転換等が予定されている。

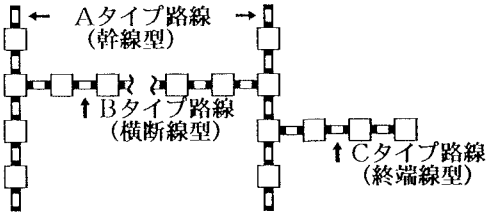

図１、路線タイプのモデル図

鉄道、路線名称、駅名称

岩手大学工学部建設環境工学科　盛岡市上田4-3-5　☎019-621-6453　FAX019-621-6460

3．東北地方の鉄道路線名称の分類

まず、鉄道路線を、前頁の図１のように幹線（Aタイプ）、2つの幹線を結ぶ横断線（Bタイプ）、幹線等の路線とある都市とを結ぶ路線（Cタイプ）、その他の路線（Dタイプ）の４種類に分類する。

次に、現在の路線名称を 6種類に分類し、表１のように路線とタイプを対応させる。

6種類の分類とは、磐越西線のように 2つの旧国名の頭文字がついた路線名（Ⅰ型）、仙石線のように 2つの都市名の頭文字がついた路線名（Ⅱ型）、八戸線のように一つの都市名がついた路線名（Ⅲ型）、東北本線のように地域名がついた路線名（Ⅳ型）、フラワー長井線のように沿線の景観を連想させる言葉がついた路線名（Ⅴ型）、会津鬼怒川線のように 2つの地域名がついた路線（Ⅵ型）である。

表１より（Ⅰ型）の名称は、明治に開通した鉄道交通の基本となる路線（幹線）に付けられ、（Ⅰ型）に東西を付した名称は、明治から大正にかけて、複数の幹線を結ぶ目的で建設された横断線に付けられたことがわかる。これらすべての路線名称は、複数の地域を連絡するという意味をもっている。

また（Ⅱ型）の名称は、（Ⅰ型）と異なり、昭和初期に建設された横断線で、地域間というよりも、都市間を結ぶ目的が強い路線に付けられた。

（Ⅲ型）の名称は、大正から建設され始めた地方の発展を目的とした路線に付けられ、これらは、幹線と都市を結ぶという路線形態である場合が多く、ほとんどが終点の駅名を採用している。

（Ⅴ型）の名称は、すべてが第三セクター路線であり、地元色が強く、観光誘致に力を入れているという特徴がでている。

4．東北地方において改称された駅名の分類

東北地方のJR、第三セクター線において、改称された駅名の一部を表２の様に分類した。以下に特筆すべき点を述べる。

東北地方で本格的に鉄道交通が普及しはじめた大正から昭和にかけて、駅名に会津や岩手などの地域を表す言葉を新たに付け加える改称が多い。

昭和中期になると、駅名を、市町村の合併により合併後の都市の名称に改称したり、都市の広大化につれ仙台南駅のように、都市名に東西南北を付けた名称に改称する駅が多くなった。

このほか、鉄道黄金期と呼ばれた大正、昭和中期には、所在地の字名から都市名への改称、第二次大戦後から昭和後期にかけて、観光誘致を目的とした改称が多く見られた。そして近年では、新幹線開通に伴う平行在来線等のアクセス駅においての改称が見られる。

表１、鉄道路線名と路線タイプの対応

凡例　鉄：私鉄　三：第三セクター　JR：JR

平成９年４月１日現在

分類名	路線名	起点	終点	距離	開・廃開日	路線タイプ
国名頭文字型（Ⅰ型）	奥羽本線	福島	青森	484.5	M38. 9.14	A
	常磐線	日暮	岩沼	343.1	M39.11. 1	A
	羽越本線	新津	秋田	271.3	T13. 7.31	A
東西型	磐越西線	郡山	新津	175.6	T 6.10.10	B
	磐越東線	郡山	泉	85.6	T 6.10.10	B
	陸羽東線	小牛田	新庄	94.1	T 6.11. 1	B
	陸羽西線	新庄	余目	43.0	T13. 4.20	B
都市名（Ⅱ型）	水郡線	水戸	磯部	137.5	S 2.12. 1	B
	石巻線	野蒜	川原	147.2	S11. 7.30	D
	米坂線	米沢	坂町	90.7	S11. 8.31	B
	仙山線	仙台	羽前千歳	58.0	S12.11.10	B
	仙石線	仙台	石巻	56.3	S13. 5. 1	C
都市名型（Ⅲ型）	石巻線	小牛田	女川	44.9	T 8. 4. 1	C
	大湯線	野辺地	大湯	54.4	T10. 3.20	C
	左沢線	北町	左沢	24.3	T11. 4.23	C
	山田線	盛岡	宮古	157.5	T12.10.10	C
	大船渡線	一ノ関	盛	105.7	T14. 7.26	C
	八戸線	八戸	久慈	64.9	S 5. 3.27	C
	花輪線	好摩	大館	106.9	S 9. 6. 1	B
	仙石線	石巻	仙石	90.2	S25.10.10	C
鉄	上田和電鉄丸子電鉄	三沢	丸子町	14.7	S26. 6.20	C
鉄	阪急阪神（鉄道交通）	鶴橋	梅田	9.2	S37. 7.12	C
	北上線	花上	横手	61.1	S41.10.20	B
	田沢湖線	盛岡	大曲	75.6	S41.10.20	B
	男鹿線	追分	男鹿	26.6	S43.10. 1	C
鉄	大糸鉄道（弘南鉄道）	松川	大町	13.9	S45.10. 1	D
	只見線	会津	小出	135.3	S46. 6.29	D
	岩泉線	茂市	岩泉	38.4	S47. 2. 6	C
	弘前電鉄	鶴田	弘前	72.8	S52.12.11	D
鉄	黒石線（弘南鉄道）	川部	黒石	6.2	S59.11. 1	C
鉄	大館線（十和田鉄道）	十和田	大館	18.0	S60. 7. 1	C
	山形鉄道線	高畠	山形	87.1	H 4. 7. 1	C
	秋田鉄道線	横堀	秋田	127.3	H 9. 3.22	C
地域名型（Ⅳ型）	東北本線	東京	青森	739.2	M39.11. 1	A
	鉄 弘南鉄道（弘南鉄道）	弘前	黒石	16.8	T 2. 9. 7	C
	鉄 阪急電鉄	梅田	神戸	20.7	T 5. 7.15	C
	津軽線	青森	中里	55.8	S26.12. 5	C
	東北新幹線	東京	盛岡	535.3	S57. 6.23	A
	三 会津線（会津鉄道）	田島	湯野浜	57.4	S62. 7.16	D
	南部線	剣吉	目時	87.8	S63. 3.13	D
	三 秋田内陸縦貫鉄道	鷹巣	角館	94.2	H 1. 4. 1	D
沿線景観型（Ⅴ型）	三 北リアス線（鉄道）	宮古	久慈	71.0	S59. 4. 1	D
	三 南リアス線（鉄道）	盛	釜石	36.6	S59. 4. 1	D
	三 陸南山鉄道（南部鉄道）	盛駅	大船	23.0	S60.10. 1	C
	三 フラワー長井線（鉄道）	赤湯	荒砥	30.5	S63.10.25	C
	三 くりはら田園鉄道	石越	来	25.7	H 7. 4. 1	C
複数地域名型（Ⅵ型）	三 会津鬼怒川線（鉄道）	湯西川	鬼怒川	30.7	S61.10. 9	D

※鉄道マインパーク前

表２、改称された駅名（一部）

平成５年４月１日現在

分類名	現名称	旧名称	改称日	路線	都道府県
地域名追加型	伊賀新城	新城	T 5. 9.11	奥羽本線	青森
	十和田	上野	T 5. 2.10	花輪線	岩手
	会津若松	若松	T 6. 5.21	磐越西線	福島
	羽後境	境	T 8. 7. 1	奥羽本線	秋田
	岩手一日町	二日町	T13.12.16	釜石線	岩手
	岩手川口	川口	S 9. 2. 1	東北本線	岩手
	陸前浜田	浜田	S19. 5. 1	仙石線	宮城
	陸前富山	富山	S19. 5. 1	仙石線	宮城
	陸前大塚	大塚	S19. 5. 1	仙石線	宮城
	陸前山下	宮城山下	S19. 5. 1	仙石線	宮城
字一都市型	磐城太田	高	M31. 12. 1	常磐線	福島
	喜久田	磐ノ内	T 4. 4.10	磐越西線	福島
	小山田	谷田	T 4.11.23	釜石線	岩手
	真室川	新町	T 5. 9.20	奥羽本線	山形
	鵜沢	宇鵜	T13.12.16	釜石線	岩手
	上北町	赤崎	S34.10. 1	東北本線	青森
	八雲	落	S34.11. 1	五能線	秋田
	磐梯町	大寺	S40. 6. 1	磐越西線	福島
	男鹿	船川	S43. 4. 1	男鹿線	秋田
	八戸	尻内	S46. 4. 1	東北本線	青森
	会津下郷	湯沢	S62. 7.16	三 会津鉄道線	福島
都市合併型	北上	黒沢尻	S29.11.10	東北本線	岩手
	蔵王	金井	S26. 3. 1	奥羽本線	山形
	双葉	長塚	S34.10. 1	常磐線	福島
	相馬	中村	S36. 3.20	常磐線	福島
	名取	増田	S38. 5.25	東北本線	宮城
	八郎潟	一日市	S40. 6. 1	奥羽本線	秋田
	仁賀保	象潟	S43. 4. 1	羽越本線	秋田
	二戸	福岡	S62. 2. 1	東北本線	岩手
	高畠	屋ノ目	H 3. 3.16	奥羽線、山形線	山形
都市内型	東能代	能代	S18. 6.15	奥羽本線	秋田
	北能代	羽後東雲	S18. 6.15	五能線	秋田
	西古川	中新田	S32. 4. 1	陸羽東線	宮城
	東八幡	八幡	S34.10. 1	五能線	秋田
	南仙台	陸中中田	S38. 5.25	東北本線	宮城
	東新潟	新潟	S53. 6. 1	東北本線	福島
	新庄河	新城西郷	S57. 6.23	奥羽、山形線	福島
	東新潟	横越	S61. 4. 1	阿武隈急行	宮城
観光誘致型	松島海岸	松島公園	S19. 5. 1	仙石線	宮城
	野蒜	東北線蒲	S19. 5. 1	仙石線	宮城
	宮崎赤倉	宮沢	S27.11.15	陸羽東線	山形
	八幡平	小豆沢	S32. 6. 1	花輪線	秋田
	十和田南	毛馬内	S32. 6. 1	花輪線	秋田
	新後熱海	岩代熱海	S40. 6. 1	磐越西線	福島
	田沢湖	生保内	S41.10. 1	田沢湖線	秋田
	あつみ温泉	温海	S52.10. 1	羽越本線	山形
	湯田温泉	湯田	S61.11. 1	東北本線	青森
	全国一温泉	金田一	S62. 2. 1	東北本線	岩手
	戸野牧温泉	十三湖	S62. 7.16	三 津軽鉄道線	福島
	大川ダム公園	角子	S62. 7.16	三 津軽鉄道線	福島
	戸野牧温泉南	金木	S62. 7.16	三 津軽鉄道線	福島
	鶴羽土温泉	鶴羽土	S62. 7.16	三 津軽鉄道線	福島
	長瀬公園	公園前	S62. 7.16	三 津軽鉄道線	福島
	上ケ岳登山口	糠沢	S62. 7.16	三 津軽鉄道線	福島
	会津高原	会津塩ノ原	S62. 7.16	三 津軽鉄道線	福島
	会津荒海	荒海	S62. 7.16	三 津軽鉄道線	福島
	松浦八幡平	岩手松尾	S63. 3.13	花輪線	岩手
	岩手高原	鶯ケ巣	S63. 3.13	花輪線	岩手
	岩手空港	二枚橋	S63. 3.13	東北本線	岩手
	大野温泉	大野	H 3. 3.16	奥羽本線	青森
	鹿野土温泉	陸中大石	H 3. 6.29	花輪線	岩手
	ほっとゆだ	陸中田沢	H 3. 6.20	北上線	岩手
	岭だ高原	岩手船田	H 3. 6.20	北上線	岩手
	かみの中宮温泉	上山	H 4. 7. 1	奥羽、山形線	山形
	座古記念館前	北上山	H 4. 7. 1	奥羽、山形線	山形

野田正穂他：「日本の鉄道～成立と展開～」，日本経済評論社，1986.5、岩田光正：1993年「旅」4月号別冊付録「駅名変遷辞典」，日本交通公社，1993.4